

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査日	2017 年	8 月	28 日	記入者	橋詰輝己
調査者名	鈴木	久門	岡村	橋詰	

調査対象先	光林寺(真宗佛光寺派)				
所在地	磯城郡川西町保田43-1			電話番号	0745-44-0047
代表者 調査対応者	川端悟(さとし)住職				
対象文化財	彫刻	県指定:	件	国宝:	件
	建造物	県指定:	1 件 2 棟	国宝:	件 棟
				重文:	1 件 件 1 棟

地震対策

①対策の現況	<input checked="" type="radio"/> A:実施済 <input type="radio"/> B:一部実施済 <input type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	昭和62年に本堂の改修工事(屋根、瓦を含む)を実施。ただし、阪神淡路大震災の時は、本堂の欄間が外れた。重文の木造阿弥陀如来立像(快慶の晩年の作)は特に何も行っていない。
	今後の予定	特にない。
	要望	本堂・表門の県文化財の指定は平成17年。本堂改修工事はその前だったので、檀家(約200戸)と寺で全額費用をまかなった。今後、檀家が減ると、寺側負担の修理費用をまかなえるか不安だ。
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input type="checkbox"/> その他()
	今後の予定	
	要望	

防火対策

①対策の現況	<input checked="" type="radio"/> A:実施済 <input type="radio"/> B:一部実施済 <input type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	火災報知機は設置し、年2回の定期点検は受けている。避雷針も設置し、年1回の点検を行っている。
	今後の予定	特にない。
	要望	寺の回りは道が狭く住宅も密集しているので、火災の際、延焼が心配。
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input type="checkbox"/> その他()
	今後の予定	
	要望	

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査対象先	光林寺(真宗佛光寺派)
-------	-------------

獣害・白アリ等の対策		
① 獣害等被害	<input checked="" type="radio"/> A: 経験あり	<input type="radio"/> B: 経験なし
② ①の回答が Aの場合	どのような被害か	2年前にネズミの被害があり、ダスキンで駆除を行ってもらっている。白アリ対策は20年前に調べてもらっているが、その後はしていない。
③ 今後	今後の予定、要望	白アリ対策を行う必要があると考えている。

県指定文化財の本堂は江戸前期建立



快慶晩年の作、木造阿弥陀如来立像



本堂の屋根上部に設置されている避雷針



表門脇に防火用ホースを設置



参道に通じる住宅地の狭い道路



【調査票記入者(橋詰輝己)の感想】

災害対策は問題なかった。参道に通じる道路が狭く消火作業に難があるのでないか。17年前の本堂改修工事には檀家とお寺で全額費用を持った。改めて寺の維持管理には大変な苦勞があるとの認識を持った。